

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミクシード実務		
○保護者評価実施期間	R6年4月1日		～ R7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R6年4月1日		～ R7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブレイルームが広く、開放的な室内	子どもたちが安全かつ活発に行動でき、職員の目の行き届くような室内構造になっている。また、広々としたブレイルームと個室を使い分け、個別プログラムにも取り組めるよう配慮した環境づくりを行っている。	玩具や本類などは、定位置に収めることで自由に使えるようになっているが、取り扱いに注意が必要な遊び道具は職員が手渡ししながら、場所の区分けやルールを伝え、見守りにつく必要がある。
2	社内情報共有ツールによる、情報共有等	日々のできごとや気づいたことなどを、ツール内で発信・共有している。また、従業者同士だけでなく、事業所間での連携や連絡ツールとしても活用しており、職員同士の協調性向上にも役立てている。	定期的な支援会議を行っているが、文面上の共有だけでなく、随時口頭での報告や相談などを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応	非常時対策マニュアルは策定し、避難訓練も実施しているが、保護者などへの周知が充分ではない。	活動記録への記録はもちろん、お便りやブログ等に掲載し事前周知と事後報告を行う。
2	支援に関する連携体勢	保護者や学校、相談支援事業所などへの情報共有は適宜行っているが、その他の情報共有を実施する場を設けられなかった。	支援に対する意識合わせができる体制を構築し、自治体や地域、他業種との情報共有や連携も行っている。